

森を“守る”って、何だろう？



9月1日（月）、30日（火）、10月15日（水）の3日間にわたり、小清水小学校の3年生を対象とした総合学習「共に生きる社会」の企画は、清水小学校より依頼があり実現しました。この企画は昨年度末に小清水小学校より依頼があり実現したものでした。

第1回目は才木一ツクの村の皆様にご協力いただき、森林散策を実施しました。ネイチャービングをしながら林内を歩き回り、森林がどんなところなのかを感じ取つてもらい、森林への親しみも抱いてもらえたでしょうか？

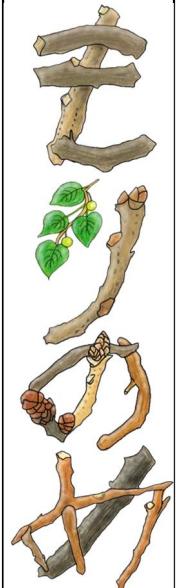
第2回目は、小清水小学校で座学での授業を行い、森林のはたらきや林業のサイクル、なぜ木を伐るのかなど、クイズも交えて楽ししながら学習してもらいました。『木を伐ることも、森を守ること。』3日間の体系的な授業を通じて、森を守るということは木を植えることだけではないということが伝わったのではないかでしょうか。

9月1日（月）、30日（火）、10月15日（水）の3日間にわたり、小清水小学校の3年生を対象とした総合学習「共に生きる社会」の企画は、清水小学校より依頼があり実現しました。この企画は昨年度末に小清水小学校より依頼があり実現したものでした。

第3回目は、株式会社佐藤製材工場の皆様にご協力いただき、当署管内の製品生産事業現場にて土場の見学を実施しました。児童たちは高く積まれた丸太や迫力ある林業機械に大興奮！！この土場がどのような場所なのかという

ことや、座学でも触れた木を伐ることの必要性について、実際に現場を見て想像してもらえていたら嬉しい限りです。

木を伐ることは森を破壊する木を伐ることには、参加して木の成長してき成績が見たいです。クイズの終わりには、参加してくれた子どもたちに記念品として木のコースターを配りました。コースターに限らず、木材を使うことは、林業におけるサイクルの一部であり、健全な森づくりを支える取組です。皆さんもぜひ木製品を生活に取り入れてみませんか。



新聞



第5号

2025/12/15 発行

網走南部
森林管理署



今年も来ました！ 小清水町植樹祭

植樹の後には昨年同様、もりのめによる森林クイズを行いました！！



卷立作業

グラップルに乗る児童

10月11日（土）に、小清水町街地で行われた町民植樹祭に参加しました。今回の植樹に使用したのは北海道で多く見られるエゾヤマザクラの苗木です。皆さんとても張りきつて作業されていたので用意していただいた220本の苗木はあつという間に植え終わりました。

サクラの木は早ければ5年ほどで開花するそうです。せ

っかく植えた苗木ですので、

風や雪に負ける

ことなく、無事

に成長してきれ

いな花を咲かせ

る様子が見たい

ですね。



植樹



森林クイズ！



第5話 森林散策

4コママンガ

きにならじやまゆべ

